

議会だより

まんのう

2014

平成26年2月1日発行

No.10



進撃の成人 -まんのう町成人式-

2P **徹底調査** 議会独自で契約

4P **議案採決結果**

5P **7500万円を増額補正**

12月定例会・第4回臨時会

8P **12人が町の考えを問う** 一般質問

15P **膝を交えて** 議会報告会

18P **先進地に学ぶ** 研修報告

20P 議会からこんにちは
川奥そば打ち道場

徹底調査

専門家による調査を開始

壁の無断変更が発覚した後、これを受けて議会は特別委員会を設置した。

それ以降も無断変更や不審な点が相次いだ。（議会だより8号・9号参照）

これを受け、町民の皆さんにとって、PFI事業で建設した建物が、安全で安心できる建物であるかどうかを検証するために、専門家に調査を依頼することとした。

建物が新しく、大手ゼネコン（※1）が建設したこともあり、なかなか調査を受けてくれるところが多かった中で、高知工科大学の中田慎介教授がその任を引き受けてくれることとなった。

議会について

今までの議会で、調査の専門家等と議会が独自に契約をするということは通常ありえないが、今回は、これまでの姿勢も含め、町当局だ



コンクリート強度試験のために
壁の一部を抜き取っている作業の様子

けには任せてはおけないという事から、議会独自で契約する事とした。

現在、最初の設計と竣工後の建物が、同じものであるのかどうかの調査と、実地検査としてコンクリートの強度試

験を行った。

今後、設計図でおかしいところがあれば、さらに現場での実地検査を行うことになる。

※1 大手総合建設業



中田慎介教授（1942年生）

東京大学大学院を卒業後、建設省、海外の大学教授を歴任、高知工科大学設立時に教授として赴任。
現在、高知工科大学教授

（同様の調査）

愛媛県武道館問題 構造審査委員長

香川県大川体育館問題 被害調査検討委員長 等

調査の流れ

図面のチェック

最初の図面

比較調査

竣工後の図面

コンクリート
強度だけは先
に調査

その後

次の契約

調査結果で気になる部分の
現場調査

安全性を

町民説明会を開催

特別委員会としても

町民の皆さんに説明責任を果たすために、12月15日に住民説明会を行った。

日程の都合で、師走の忙しい時にもかかわらず、多くの町民の皆さんが参加され、関心の高さを実感した。

当日は、まず第三者機関の調査委員長である中田教授に、今回の調査について、一般的な建築の話を通り交ぜながらお話しいただいた後、住民の皆さんの質問に答えていただいた。

その後、委員会として、このような事になった経緯や、今後の議会としての対応などの質問に対し

て答えた。

今後、議会として皆さんの期待に答えられるように徹底調査をして行くことを約束した。



12月15日の町民報告会の様子

疑問に答えます

11月の議会報告会で

も多くの意見が寄せられました。

疑問を払拭する事が、今回の調査の目的でもあるので、質問を新たに受け付けたいと思います。

頂いたご意見は、

今後の調査にも役立てたいと思いますので、どんな質問でも結構ですのでお寄せください。

受付方法

(郵送) 〒766-0022 仲多度郡まんのう町吉野下 430
議会事務局

(持参) 本庁4F、各支所、美合出張所

(FAX) 0877-73-0114

(メール) gikai@town.manno.lg.jp

尚、電話による受付は致しません。

質問を受け付けた後、委員会で調査し議会ホームページ、議会だよりにて報告いたします。

個別での対応は致しませんのでご了承ください。



マスコミも注目

議案採決結果

議案名等		議員名			議席番号			16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	関連ページ
					賛成	反対	議決結果	大岡 克三	川西 米希子	田岡 秀俊	合田 正夫	白川 正樹	本屋敷 崇	関 洋三	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	高木 堅	
平成25年(第4回)臨時会(11月1日)																							
議案第1号	工事請負契約の締結について(平成25年度社会資本整備総合交付金事業 町道道德寺橋大空線道路改良工事(道德寺橋部下工事))	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
議案第2号	平成25年まんのう町一般会計補正予算(案)第3号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委第1号	満濃中学校PFI事業における重大な瑕疵に伴う調査を依頼する件について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P7
平成25年(第4回)12月定例会(12月10日～20日)																							
議案第1号	塩入辺地に係る総合整備計画の策定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第2号	本目辺地に係る総合整備計画の策定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第3号	勝川辺地に係る総合整備計画の策定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第4号	川奥辺地に係る総合整備計画の策定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第5号	まんのう町琴南高齢者生活福祉センターの指定管理者の指定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第6号	まんのう町琴南高齢者ふれあいランドの指定管理者の指定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第7号	まんのう町特別養護老人ホームの指定管理者の指定について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P6
議案第8号	平成25年度まんのう町一般会計補正予算(案)第4号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	P5～
議案第9号	平成25年度まんのう町国民健康保険特別会計補正予算(案)第2号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第10号	平成25年度まんのう町介護保険特別会計補正予算(案)第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第11号	平成25年度まんのう町診療所特別会計補正予算(案)第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第12号	平成25年度まんのう町簡易水道特別会計補正予算(案)第2号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第13号	平成25年度まんのう町下水道特別会計補正予算(案)第1号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第14号	平成25年度まんのう町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(案)第2号	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発委第1号	満濃中学校PFI事業における重大な瑕疵に伴う調査を依頼する件について	14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
閉会中の継続調査について		14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		議席番号			16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				

※可/可決 否/否決 認/認定 不/不認定 推/推薦 継/継続審査 同/同意 ○/賛成 ×/反対
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。〈議長 議席番号16番〉

平成25年度12月定例会

開催期間 12月10日～20日（11日間）

約7500万円を増額補正

ため池ハザードマップ（※2）の作成、庁舎内パソコンの整備費などによる増額、

人件費削減と職員給与カットによる減額

12月定例会は、10日から20日までの会期で開き、平成25年度12月補正予算、指定管理者の指定、辺地に係る総合整備計画など15案件の審査をおこないました。

※2 自然災害を予測し地図化したもの

第4回臨時会（P7参照）

開催期間 11月1日

工事請負契約の締結、

PFI事件に伴い調査を依頼する件など3件。

第4回臨時会を11月1日に行い、道德寺橋の工事請負契約の締結、PFI事件に伴い調査を依頼する件とそれに伴う補正予算の3案件の審査をおこないました。

25年度12月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	7500万円	102億9400万円
特別会計	△900万円	56億 500万円



美合地区にある特養老人ホーム「やすらぎ荘」

議案質疑の内容

12月議会

民間の力で

指定管理者の指定について

特別養護老人ホームやすらぎ荘を含む高齢者福祉3施設を社会福祉法人正友会に5年間の期間で指定管理させるかどうか。

（川西委員）

今回の指定管理が公募によらない選定を決定した理由は。

（福祉保険課長）

今までも正友会が管理をしてきており、審議会の評価も高く町内での実績を考慮した結果である。

（白川正樹委員）

指定期間が3年間や10年間でなく5年間である理由は。

（福祉保険課長）

3年間では、職員雇用の安定や機器リース料が高額になる等があり、10年間では長すぎのので5年間が妥当であると考える。

【採決結果】

全会一致賛成

地域格差の解消

辺地に係る総合整備計画の策定について

ある一定の要件を満たしたへき地において、地域格差を解消するための有利な辺地債を活用する整備計画の策定。

(本屋敷委員)

川奥辺地の総合整備計画には、消防屯所しかないが、地元では水道の確保等の話が出ている。今回の整備計画には含まれないのか。

(企画政策課長)

あくまで現在の整備計画であり、新しい事業に関してはその都度の変更で対応したい。

【採決結果】

全会一致賛成



現在、使われているパソコン

パソコン更新

職員用パソコンの更新整備

(1,700万円)

来年4月にOSソフトのサポートが切れるにあたり古くなったパソコンを更新する。

(田岡委員)

更新しなければならぬパソコンはどれくらいあるのか。

(企画政策課長)

141台が対象であり、パソコンの買い替えはデスクトップパソコンが100台、ノートパソコンが20台である。

(本屋敷委員)

この予算ならもっと性能の良い機種への買い替えが可能ではないのか。

(企画政策課長)

見積もりは1社により行っている。執行に当たっては再度議会に相談する。

子どもが増えた

児童手当の増額

(550万円)

現在、15歳以下に支給されている児童手当の対象者が見込みより増えたため。

もしもため池が

ため池ハザードマップの作成

(7,600万円)

町内にある5000トンから10万トン未満の38箇所のため池がもしも決壊したときの被害状況を想定した地図を作る費用。

(藤田委員)

被害想定地図を作るにあたり、池の現状把握はどのようにするのか。

(建設土地改良課長)

基本はため池台帳だが、池の現状確認は現地確認を行う予定である。

(川原委員)

業者選定は、実績や技術力を考慮する必要があるがどのようにするつもりか。

(建設土地改良課長)

今回の選定は、それらを考慮した提案型事業者選定を予定している。

地震に備えて

民間住宅耐震支援事業費

(290万円)

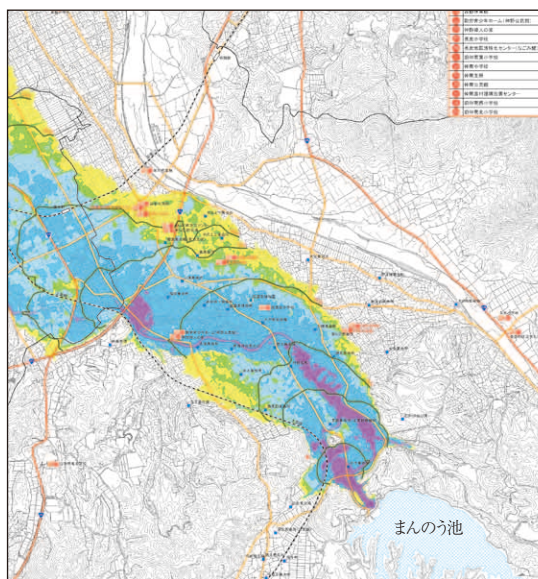
民間住宅をする耐震補強するための診断および改修に対しての一部補助。

(白川年男委員)

診断が2件、改修が3件とあるが、補助はどのようになっているのか。

(建設土地改良課長)

耐震診断は9割補助



ため池ハザードマップ

の上限9万円、改修が半額補助の上限90万である。

緊急時の放送を

防災機器更新費

(120万円)

緊急時に町内一斉放送される機械（J・アラート）の更新にかかる費用。

教育施設の整備

小学校施設整備費

(200万円)

四条小学校のエアコン取り付けに係る設計費、および仲南・満濃南小学校の体育館の天井撤去のための設計費。

(高木委員)

体育館の天井撤去になぜ設計委託料が必要なのか。



天井撤去する仲南小学校体育館

(学校教育課長)

天井だけでなく電気設備があるため。

台風被害を

災害復旧費

(860万円)

台風によって被害を受けた箇所を復旧するための費用。

職員給与の削減

人件費削減による減額

(△4,350万円)

人数減(3人)、および国の要請を受けて10月から3月までの職員給与カット実施に伴う削減。

第4回臨時会

工事請負契約

町道道德時橋大空線道路改良工事(道德寺橋下部工事)

道德寺橋の下部工事を約5300万円で(株)澤村組と工事請負契約を結ぶのか。

(田岡議員)

下部と上部に分かれて



台風で崩壊した田んぼの法面

いるが、本来一体で行うべきではないのか。

(建設土地改良課長)

県に対しては一体で予算請求したが、下部だけの予算となった。

(三好議員)

満濃中学校のこともあるので、建設中の監理・監督はきちんとして欲しいがどのようなになっているのか。

(栗田町長)

工事に至っては、建設

土地改良課をあげてしっかり監理・監督をしていくつもりである。

【採決結果】

全会一致賛成

議会が契約

満濃中学校PFI事業における重大な瑕疵に伴う調査を依頼する件

満濃中学校PFI事業

業において、町に無断での部材変更などが発生した事を受けて、PFI事業で建設した建物が町民の安全・安心を担保できるものであるかどうかを調査するために専門の第三者に委託するには、議会での議決が必要。

【採決結果】

全会一致賛成

議員が町の考えを問う

三好 勝利 議員

中学校改築不良事件について 他

大西 樹 議員

町単独補助金の一般森林整備補助への加算について 他

田岡 秀俊 議員

六次産業の推進と“まんのうブランド”の開発を

川西米希子 議員

空き家対策について 他

大西 豊 議員

PFI事業の町独自におけるチェック機能が果たしているのか

関 洋三 議員

一般会計決算認定が不認定になった件について 他

白川 年男 議員

中学校改築PFI事業の今後を模索する 他

川原 茂行 議員

町長の責任はいかに 他

白川 正樹 議員

集落営農、特定農業団体の今後の対応について

藤田 昌大 議員

満中、PFI事業に対する町長の考え方 他

合田 正夫 議員

交通安全について 他

本屋敷 崇 議員

町行政の基本的な考え方について

三好 勝利 議員



・PFI問題

問 住民に説明を

中学校改築後、一部の
手抜き工事による欠陥
個所が発覚し、現在第三
者機関に調査を依頼し
ているが、調査をするに
至った経緯を町長とし
て、相手方（まんでが
パートナーズ、大成建
設）を呼び町民に説明す
るべきではないか。

答 1月下旬に

（町長）

まったく予期せぬ出来
ごとであり残念である。
早急に調査、欠陥個
所を補修して町民の皆
様に提供したい。
なお住民説明会は1月
下旬頃を予定している。



調査の様子

・農政問題

問 減反撤廃後の
水源の確保は

水源の確保は

減反を撤廃すれば、農
業用水の増加が考えら
れる。



2市3町の水源「満濃池」

答 国・県と協議

（町長）

町単独ではどうい
無理なので、国・県と協
議し積極的に推進して
いきたい。
避けては通れない案件
だと考えている。

水源の確保はどう考
え計画しているのか。（今
回で5～7回目の質問）

大西 樹 議員



・森林整備

問 森林整備補助金は

昨今、木材価格の低迷により、森林整備意欲も減退し、放置された森林が増加している。
森林の再生が手遅れとなると、保水力が低下し災害の危険性が増加する。これをくい止めるために森林整備が急務である。

森林整備の補助金の上乗せを考えていないのか。

答 上乗せを検討

(町長)

町としても、県、森林組合と連携し、搬出間伐、作業道の開設など造林事業推進のため、引き続き上乗せ補助を行うとともに、補助率アップについても検討したい。

・来期の動向

問 出馬の意向は

まんのう町長としての4年間の行政運営の感想及び、次期町長選挙への出馬の意向はいかに。

答 引き続き

舵取りを

(町長)

体育館の破損工事故に関して、町民の皆様



間伐の様子

にご心配、ご迷惑をおかけし申し訳ない。

行財政改革、職員の意識改革、交通弱者の足の確保対策、町民の健康増進をすすめ、教育環境の整備を図るなどに取り組んできたが、まだまだ問題は山積している。

町民の皆様のご理解とご支援を頂けるのであれば、引き続き舵取りをさせていただきます。

・農業振興

問 六次産業の推進で『まんのうブランド』を

答 課題はあるが、取り組んでいきたい

問

六次産業とは、生産(一次)から加工(二次)流通・販売(三次)まで手掛けることで、付加価値を生み出し所得の向上を図ることである。

まんのう町では現在、担い手不足などにより耕作放棄地が増えている。また五年後には減反政策も廃止となる。

今後わが町の基幹産業である農業を元気にするには六次産業を推進し、それによる『まんのうブランド』商品の開発が欠かせない。

耕作放棄地の現状と解消の取り組み、そして、六次産業化、まんのうブランドの開発の実態など、町としての支援と

今後は、

答 (町長)

現在、町内の耕作放



まんのうブランドの一部

川西米希子 議員



・虐待防止

問 子どもたちの
すこやかな
成長のために

虐待防止対策はできているのか。

虐待を防止するとともに、見守りをどのように進めていくのか。

また、オレンジリボン運動を広く周知してはどうか。

答 児童虐待防止に向けた活動を推進していく

(町長)

虐待防止対策を協議する体制の整備はしている。

オレンジリボンは子育てを温かく見守る意思のあることを示すマークであり、広報誌等を通じオレンジリボン運動がより多くの方に認知されるよう協力していきたい。

今後とも児童虐待防止に向けた活動を推進していく。



支援を待つ子ども（イメージ）

・空き家対策

問 防災対策として

防災対策としても、老朽化した空き家について撤去費用の助成を行うべきではないか。

また、所有者の管理意識を高める意義もある空き家条例の制定についてはどう考えるか。

将来的にどれ程の負担になるか予想できないことから町単独での公費助成は難しい。

答 国の法整備を待つ

(町長)

将来的にどれ程の負担になるか予想できないことから町単独での公費助成は難しい。

国の法整備を待つて条例の制定について慎重に検討したい。

大西

豊議員



・PFI問題

問 大成建設グループに改善命令を出したのか

答 無断設計変更は契約不履行であり早期に提出を求める

問 PFI事業について、町のモニタリングでは、PFI事業者及び個別外部監査の結果、妥当な管理が行われているとの報告であったが、四月供用開始以来、契約違反による設計変更が次々と発覚。

答 (町長)

町長のモニタリングでは、PFI事業者及び個別外部監査の結果、妥当な管理が行われているとの報告であったが、四月供用開始以来、契約違反による設計変更が次々と発覚。十月にも中学校の事務室の窓ガラスが破損し(四・五ミリから四ミリに無断変更)契約違反が発覚。校舎のトイレの穴あき事故については起因者負担となっているが、設計通り施工されているのか。施工管理の山下設計の再度の確認及び個別外部監査に対しても再度要求すると共に、大成建設グループに対して、契約違反を早期に自主申告させ、改善命令を出し責任の所在を明らかにすべきではないか。

町のモニタリングは、工事監理報告書等、PFI事業者から提出された書類の確認、昨年度の外部監査も、妥当との報告を受けている。今回のような設計の無断変更は契約不履行であると考え、本町は、株式会社まんてがんパートナーズに対して業務改善要求を行い、大成建設株式会社に対しては設計変更の箇所を早急に報告するように求めている。



コア抜き検査の様子



関 洋三 議員

・決算認定

問 決算不認定の責任は

24年度一般会計決算が不認定されたが、その責任は。

答 致し方ない

(町長)

PFI事業に係わる支払い行為に対して議会の納得が得られなかったことであり、致し方ないものと理解している。

・防災教育

問 生徒への防災教育は

生徒への防災教育は、家族から地域社会へと知識の広がりを期待できると思うが。

答 地域と一体となつて

(教育長)

避難訓練など実施しているが、今後さまざまな学習機会において防災教育をより一層進めていく必要がある、地域と一体になった訓練も考えて行きたい

・寄贈図書

問 寄贈された図書の扱いは

寄贈図書の約5000



公民館倉庫の寄贈図書

冊が、高篠ふれあいセンターの倉庫に眠ったままになつていているがどうするか。

答 関係者と協議

(教育長)

20年前に寄贈されたものだが、寄贈された方の意思を尊重し、地元の方々の意見も取り入れて関係者とともに十分協議していく。

・PFI問題

問 町が特別目的会社の株主に

今後維持管理をするに当たり、特別目的会社が運営するが、この管理会社の株主になるべきではないか。

答 町独自の監視機能で対応

(町長)

責任の所在、問題点を明らかにし、改善方法をなど方針を決定すべきであると考えている。

白川 年男 議員



答 支援を検討

(町長)

「特別目的会社」はPFI法および会社法にもとづいており、維持管理業務の出来、不出来についてモニタリング（監視機能）を実施すること、本町が特別目的会社に関与できると考える。

今年度、新目地区で行った竹の伐採、搬出、パウダー化の実証結果を踏まえ、事業実施に向けた支援を検討したい。

・森林整備

問 竹の有効利用を

竹による里山の荒廃が進行している。

この竹をチップ化またパウダー化にして肥料等に転用する施策が仲南森林組合などで実施されているが、このような事業に予算拡充をするべきではないか。



竹パウダーを作る様子

川原 茂行 議員



・PFI問題

問 町長の責任は
いかに

この度、多くの町民が疑問を持つことになった、新設の満濃中学校等複合施設だが、契約段階から間違っていたのではないか。

契約前に増額は無いと言っていたにもかかわらず、約2億円の増額要求があったものを了承し、発注者である町長自

らが大成建設の本社に出向くなどしたことが、今回の事態を招く原因であると考ええる。

答 議会も賛成

(町長)

契約時にはいろいろあったが、25年4月開校することを目指したのは、議会の多くの議員も同じであると思っている。

答 書面で確認

(町長)

今回の調査業務にかかる費用は、相手方が負担すると、全員協議会でも発言しており、書面での確認、さらには顧問弁護士にも確認している。



→大規模な手直し工事が行われた新設町民体育館内壁

問 今度は大丈夫か

24年度決算が不認定になった理由に、支払い時に相手方に対して、返金請求ができる状態を作っていないことも含まれるが、今回の調査にかかる費用全てを、相手方が持つと言う確約は持っているのか。

・集落営農

白川 正樹 議員



問 農業法人化への支援は

答 設立を積極的に支援

問 農業振興を図るうえで集落営農、特定農業団体等の担い手の育成は不可欠である。

香川県の農業就業人口は20年前の約半分、耕作放棄地は約1・4倍になっている。

集落営農の長所は何年も前から強調されているが法人化は進んでいない。町としては、どのように関わることができるのか。

答 (町長)

まんのう町には、法人化に向けた取り組みのため設立した特定農業組合が7組合あり、法人化について検討が進められている。集落営農法人を目指すには、中心となる人材の確保、法人の有利性の理



活動中の農業法人「ほのやま」



藤田 昌大 議員

・PFI問題

問 PFI事件に
対する町民説明は

今回PFI事業は混乱し、町民に多大な迷惑をかけたが原因はどこにあるのか、町民説明会はどうするのか。

答 大成建設、まんでがん
パートナーズを
交えて

(町長)

今回の満中PFI事

業は、総括マネージメン

ト業務が機能していな

がった事により、工事監

理者である山下設計が役

割を果たせてなかったこ

と、大成建設が町の承諾

を得ずに勝手に変更した

ことが大きな原因である

と考える。

・ゴミ対策

問 可燃ゴミを
週2回に

可燃ごみ収集の週2回

実施については多くの町

民から要望があるが早速

に対応するのか。

答 広域ステーションでの
対応を検討していく

(町長)

従来より町政懇談会

や住民からの週2回の

要望は多く寄せられて

いるが、4R活動を推

進し、生ごみ処理機の

補助事業周知、自治会

ごみ集積場所を週1回

収集する現在の方式と

あわせ、広域ステー

ション収集との組み合

わせなど、他の方法も

研究していく。



本庁舎のゴミステーション

・交通安全

問 歩道の整備など
交通安全対策は

交通事故が多発して

いる。歩道整備の進捗状

況と子どもの自転車通

学(左側通行の徹底)な

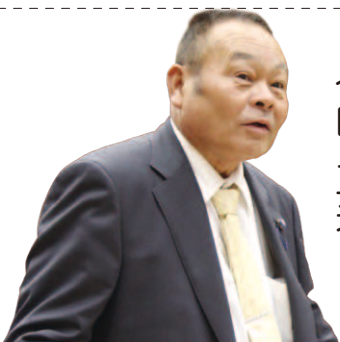
ど交通安全に対する取

り組みは。

答 順次安全対策に
取り組む

(町長)

歩道の整備は順次



合田 正夫 議員

行っていく。また、自

転車についても交通安

全を徹底し、住民、子

どもたちの安心・安全

のため啓発活動に取り

組んでいく。



通学の様子

・職員採用

問 専門職員の
採用は

今後の公共工事を

しっかりやるため、土木

や建築など専門的知識

のある方を採用してはど

うか。

答 嘱託での
採用を検討

(町長)

現在、技術系正職員

の採用は考えていない

が、嘱託としては検討

したい。

・入札制度

問 共同企業体の
あり方は

共同企業体の廃止も

含め、入札制度の変更の

考えはないのか。

答 現在の要綱に
従っている

(町長)

町内業者の育成と支援

の観点から、要綱に従い

入札を行っている。

事業の規模にもよる

が、共同企業体は誰で

も作る事ができる。

本屋敷 崇 議員

・町政運営

問 もっと特徴のある行政運営を

答 まずはインフラ整備



問

2期8年間の任期が
終わろうとしているが、
合併した利点を生かし
もつとすべきことがあつ
たのではないか。

今後の町の運営をし
ていくには、どうしても
生産人口を含む若年層
の確保が必要となる。

それらの施策が有効な
のは15歳までの医療費無
料化でも証明されている。

例えば

・通勤者等が使える町民
駐車場の整備。

・建設業者等が農業法人
を作った時の税制優遇

・同居世帯に対する税制
優遇

などなどの施策が考え
られる。

好景気時に増えた行
政サービスの見直しを
行い、新たな手法での若
年層の流出を防ぎ「ま
んのう町」のブランド力



駅と隣接した駐車場

答 (町長)

合併した事によって、
有利な財政措置や補助
を受けることができた。
それを使って町内の多
くの既存施設や新規の箱
モノなどを整備すること
ができたと考える。

この4年間で議会改革が前進

○議会基本条例の制定 (平成23年3月議会)

北海道栗山町を発端に全国の自治体で制定の動きが始まった。
今まで以上に町民に開かれた議会を目指して、まんのう町議会は県内でも先
駆けて取り組んだ。
その結果、下記のような改革が実現した。

議会だよりの発行(年4回)

広報特別委員会を作り、ほぼ全てを議員で編集し発行。

議会報告会の開催(年2回)

当初は町内1箇所で開催、25年度より6箇所の座談会方式に変更。

本会議の音声告知放送

より多くの人に傍聴していただくため、本会議を生放送。

委員会の原則公開(委員会開催日を事前に告知放送等で周知)

より多くの人に傍聴していただくため、委員会の開催日を事前告知。

○議員定数削減 18人→16人 (平成24年3月議会)

議員名	11月 19日(火)	11月 20日(水)
	19時～21時	19時～21時
大西 豊	琴南農村環境 改善センター	長炭公民館 (なごみ館)
大岡 克三		
三好 勝利		
白川 年男		
田岡 秀俊		
藤田 昌大	仲南公民館	四条公民館
白川 皆男		
関 洋三		
川西 米希子		
川原 茂行	神野婦人の家	琴南総合センター
大西 樹		
本屋敷 崇		
白川 正樹		
合田 正夫		

議会報告会の開催

11月19日から20日の2日間で町内6会場にて、合計73人の町民の皆さんに参加いただき議会報告会を行いました。

前回から、座談会方式に変えた事で、充実した意見交換ができるようになりました。
その中からいくつか紹介したいと思います。

「いっぺん来てつか」

総務関係

不認定ってなんな

問 決算が不認定になったと言う事はどういうことか。

答 今後の町政運営に直接的な影響はないが、町長の執行に対しては異議を示している。

今回は、PFI事業の建設費支払いに対して、議会が注意したにもかかわらず、全額支払いを行ったことが原因である。

99.4%って

問 公共事業の落札率が99.4%ってありえるのか。



仲南公民館の様子

答 入札回数が2回目、3回目ならありえることだが、1回目では珍しいのかもしれない。

近隣市町と連携はとれとんか

問 定住自立権構想によつて近隣市町との連携が強化されるのか。

答 丸亀市を中心市として近隣市町が連携をして行ける様になったが、まだまだこれから協議が必要であると考える。

将来負担比率ってなんな

問 将来負担比率の数字が22年と23年とで急激

に変わっているけどその理由は。

答 将来負担比率は、役場だけでなく、南部消防や広域事務組合、第3セクター等の借入金も関係する。22年と23年において、それらの借入金下がったためである。

何で議会は下げるの

問 職員は、国の要請で給与カットをしているのに、議員はなんで報酬カットをしないのか。

答 国の要請自体に問題がある。職員給与をカットする必要も無いのではないかと町長にも伝えた。

このような状態で議会側の報酬をカットはできない。
しかし、議会の中でも賛否は分かれた。

教育民生関係

敬老会どうすんな

問 敬老会が2年前から変わったが、今後はどうするつもりか。

答 とりあえず3年間は現在の方法で行うと聞いている。
その後の見直しにおいて、議会でも十分に議論

したいと思う。

子ども・子育て支援事業ってなんな

問 新しく子ども子育て支援事業というのができているが何をするのか。

答 国の方向性として、さらに子ども・子育てを支援していく事になった。今後、会議を作り協議を行っていく。



神野公民館の様子

国保が高いんじゃ

問 国保が改善したというが、基本的に国保税が高いのではないか。

答 基本的に高いと思うが、使ったら使っただけ増えるというのは仕方ない。町民の皆さんの努力をこれからお願いしたい。

高齢者に手厚いんちやうんな

問 若い人が増えてもらわないと町が存続できない。高齢者対策から若い世代へ配分するべきではないか。

答 今年、金婚祝い金の見直し、さらには100歳以上のお祝い金5万円を100歳での1回限りに見直した。
確かに、今後は厳しい財政の中で、多くのことを見直す必要がある。



琴南総合センターの様子

高齢者福祉は大事やろう

問 高齢者は増えている。高齢者福祉は切らないで欲しい。

答 確かに高齢者福祉は大切であるが、予算に見合った福祉体系を考える必要がある。

敬老祝金についてはどう思っとんな

問 敬老祝金は、大切ではないか。

答 高齢者の中にも子育て支援の方に回してはという意見もある。
議会としては、現在の支給方法については考えていく必要がある。

建設経済関係

サルやイノシシなるとかならんな

問 鳥獣被害が収まらないが何か手立てはないのか。

答 現在は、メッシュ柵や猟友会等による駆除の応急処置的な対策しかない。根本的には森林整備、過疎化対策が必要である。

山間部の水道を何とかしてつか

問 山間部は沢の水を生活用水にしている。高齢化で水源の整備ができない。

答 多くの地域から要望が上がっているので、今後の検討課題である。

PFI事業関係

議会はなんしょったんや

問 議会がきちんと監査する必要があつたのではないか。

答 当然、責任はある。しかしながら、議会としては、資料の請求や改善す



琴南農改センターの様子

るようにも言ってきたが、それらが見られなかった為に、今回、議会が第三者の専門機関と契約するに至った。

町の中間検査はどうなっとったんや

問 今回、このようになつたが、町の職員が中間検査などに立会いはしな

かつたのか。

答 本来は行くべきであるが、後から聞き取りをしたところしていなかったようだ。

選定委員会に責任はないんや

問 このようなグループを選定した選定委員会に

責任は無いのか。

答 選定委員会は、町長の諮問機関であり、責任は町長であり、議会である。

今後はどうなるんや

問 現在、専門家の第三者委員会に調査してもらっているが、調査後は



四条公民館の様子



長炭公民館の様子

どうなるのか。

答 第三者の調査機関の報告を受け、さらに検討委員会をもって判断する予定である。

相手方に対してどのような措置を行うかは現在では判断できない。

調査の結果によってその方向性は大きく変わってくると思う。

上記の質問以外にも多くの質問、または意見をいただきました。

議会としても、町民の皆さんと共に話し合う機会ができ、よりいっそう町民に開かれた議会となるようがんばります。

平成 25 年度総務常任委員会視察研修報告

日時：平成25年10月28日～30日

場所：・佐賀県武雄市

・鹿児島県鹿屋市「やねだん」

目的：・行政改革の先進事例（武雄市）

・補助金に頼らない地域づくり（やねだん集落）

①佐賀県武雄市

樋渡市長は、民間で出来ることは民間で、という考えであり、民間（TUTAYA）が運営する図書館は年中無休で約20万冊の蔵書があり、館内にはカフェ（スター

バックスコーヒ）が入り、連日たくさんの人々で賑わっていました。担当課長の説明で、市のさまざまな行革の取り組みをうかがい、図書館だけでなく、武雄市が注目される理由がわかりました。



民間が運営する武雄図書館

②鹿児島県鹿屋市「やねだん」

日本一視察の多い（年間5000人以上）人口3000人余りの田舎の集落「やねだん」を訪ね、

「行政（補助金）に頼らない地域づくり」を実践している中心人物の豊重哲郎自治公民館長に話を伺いました。「行政に頼っていたのではだめだ。感動がない。命令や説得では人は動かない。納得してこそ人は動く。」という考えのもと、今では自治会を「みなし法人」化し、さつまいもの栽培などで自主財源を生み出し「やねだん焼酎」は海外にも輸出しているということです。



説明してくれる豊重自治公民館長

平成 25 年度建設経済常任委員会視察研修報告 「次世代農業を学ぶ」

日時：平成25年11月11日～13日

場所：熊本県玉名市～宮崎市

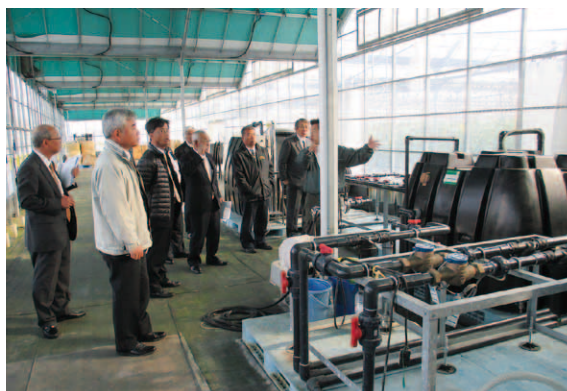
目的：IT（パソコン）を加味した農業

農業立町であるといわれるわが町で、生活できる農業を育成していくために、次世代農業を実践している「トマトJR農園・玉名」及び「株宮崎太陽農園」を視察しました。

どちらも、初期投資額は4、5億円で、面積約3ヘクタールの大規模ミニトマト農園でした。農業を先端技術によって、可能な限りデータ化して経費面、栽培面、人材育成などに活用しています。

「農園・玉名」は全額JR九州が出資し、岐阜農業技術センターが開発した培養液循環栽培システムを導入し、販路についてはJAが中心です。

「太陽農園」は、公共が半額を出資し、地元農園とIT企業が連携して立ち上げた。販路は、地元農園の独自ルートである関東地方です。感想として農業法人などによる大規模経営



先端技術化されたビニールハウス

や農業経験者との連携が重要であること。栽培技術などの経験や勘もデータ化して分析すること。

そこから経営部門などに活用できる資料や各種マニュアルを作成するなど、いままでの農業ではなく、工場等の生産管理に近いものが必要であり、そうすることで、生産性の高い農業経営が実現できるのだと感じました。

「備えあれば憂いなし
(南海地震に備えて)」
と題し、香川大学客員
教授の乃田俊信先生よ
り、普段からの災害に
対する備えの大切さを
学びました。

先生は、元陸上自衛

香川県町議会議員研修会報告

日時：平成25年11月25日

場所：香川県自治会館7階 大会議室

目的：これからの地方自治に対応した議会の活性化を
図るため



研修であいさつする大岡議長

官として阪神淡路大震
災で、実際に救援活動
にあたった経験を交え、
「災害時に公共はほとん
ど役に立たない」のを頭
に入れて、もしもの時を
想定しているかどうかで
生と死がわかれるなど
非常に有意義な講義を
していただきました。

また、瀬戸内海歴史
民俗資料館館長の大山
眞充先生より「古代瀬

戸内の海上交通」と題
し、古より道として、
食料供給元として、権
力手段として、芸術・
文化の源としてなど瀬
戸内海は重要な役割を
果たしていたお話を伺い
ました。

今後、今回の研修を

活かし防災意識の高揚
とともに、今後の地域
づくりの参考にしてい
きたいと思えます。

誰のため？

まんのう町
議会議員選挙

投票率が下がり続けている現在の選挙。
本当にこのままでいいのでしょうか？

平成26年4月22日任期満了に伴う、まんのう町議会議員選挙が下記
の日程で行われます。

告示日	4月 8日 (火)
投票日	4月13日 (日)
定 数	16人



立候補予定者説明会は、2月7日(金)本庁3階で行われます。
詳しくは、まんのう町選挙管理委員会までお問い合わせください。

まんのう町選挙管理委員会事務局 (総務課内) ☎0877-73-0100

今回は琴南地区で活動されている「川奥そば打ち道場」を紹介します。

指導者である高尾幸男さんご夫妻と増田さんは、グリーンツーリズム事業の中で、琴南地区において、古くから伝わる田舎そばを通して、多くの人に琴南地区を知ってもらう活動をしています。

事業を始めた10年前より、町内外の方が多く訪れ、耕作放棄地で



指導者の高尾夫妻



山村の心を伝える 川奥そば打ち道場

はそばを栽培し、そのそば粉を使い、そば打ちの体験ができます。



そば打ち体験の様子

取材した当日は、雪にもかかわらず、町外から多くの人たちが参加していました。

私たちも参加しましたが、約2時間で出来上がり、自分たちが打ったそばの味は格別でした。

また、今年は琴南中学校の生徒とそば栽培を行い、12月24日には、生徒にそば打ちを指導していました。

生徒達も、ふるさとの文化を体験することができ、とても楽しそうでした。

そばを通して琴南地区の魅力を発信し続けている川奥そば道場を取材して、地域振興の可能性を感じる事ができました。



真剣にそばを打つ中学生

「川奥そば打ち道場」

開催日: 通年15回程度(11月~3月)
今年度は、2/16, 18 3/9, 11, 25, 30
※ 2月は午後の部のみ
場 所: 川奥集会場(まんのう町川東2748-6)
時 間: 午前の部 9時~ 午後の部 13時~

料 金: 1800円/人
定 員: 各回10名
お申し込み・お問い合わせ先:
まんのう町役場琴南支所 Tel(0877)-85-0102
Fax(0877)-85-2077

ぜひ、みなさんも一度体験してみたいかがでしょう。

今号の表紙

今号の表紙は「進撃の成人」。1月12日に行われた成人式の様子です。

合併後7年間は、夏の開催でしたが、今年からアンケートの結果、冬の開催となりました。

今年の新成人は231人で、その中から約100人の参加者がありました。

新しい時代のまんのう町を担っていただく新成人の門出を祝福し、多方面での活躍を期待いたします。



あとがき

編集委員長 藤田昌大

議会だより10号が完成しました。

年4回の定例会終了後、議会だよりを発行してまいりました。

毎回、皆さんに少しでも読みやすい紙面をお届けするために、広報委員ならびに議員一同がんばってまいりました。

次号については、改選後の広報委員会にて発行予定とさせていただきます。

ご愛読ありがとうございました。

議会広報特別委員会

〈委員長〉藤田昌大
〈副委員長〉田岡秀俊
〈委員〉白川年男
〈委員〉本屋敷崇
〈委員〉白川正樹
〈委員〉川西米希子



リサイクル可能な植物油インクを使用しています。

●この議会だよりは、四国新聞販売株式会社に委託し、町内の全世帯に配布しています。配布についてのお問い合わせは、まんのう町議会事務局 TEL(73)0109まで